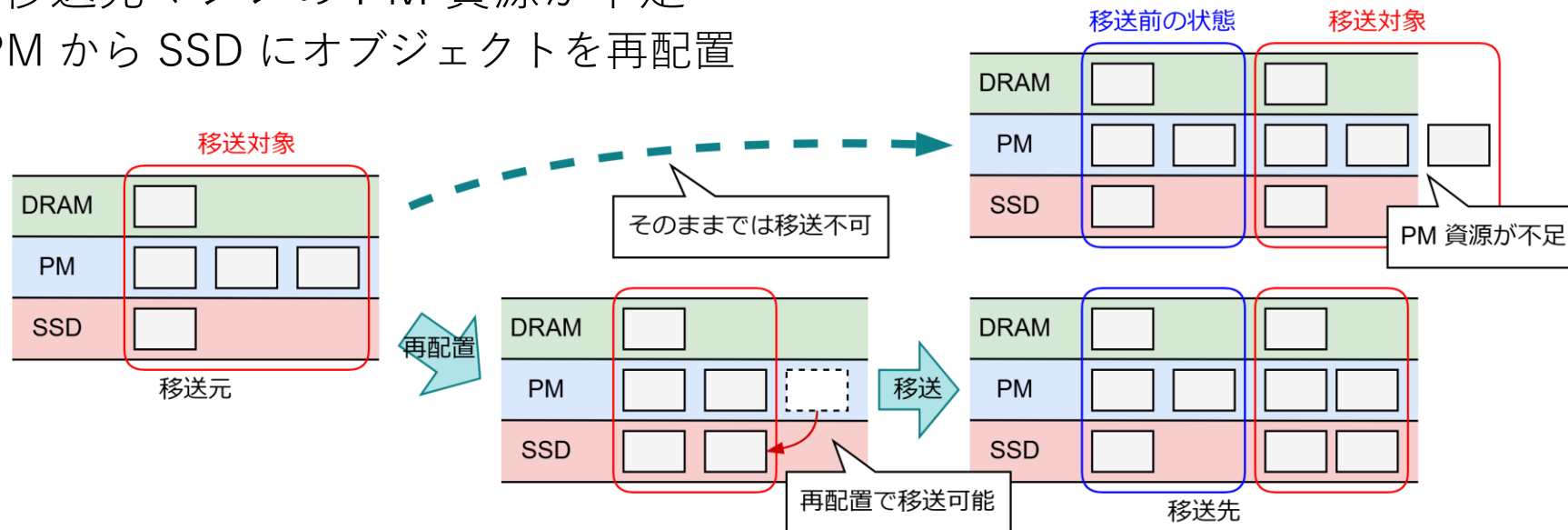


アプローチ

- 移送対象の KVS の使用資源配置を動的に変更しながら移送する
 - 着眼点：オブジェクトをデバイス間で移動させてもクエリの結果は変わらない
 - PM-aware KVS のオブジェクトは各デバイス間で再配置可能
- オブジェクトの再配置を利用して移送する
 - e.g.) 移送先マシンの PM 資源が不足
 - PM から SSD にオブジェクトを再配置



実装・実験

■ 実装

- pmem-rocksdb をベースに実装

■ 実験目的

- オブジェクトを再配置しながら移送できているかを確認する
- 移送先デバイスの違い (PM or SSD) による提案手法の有効性を確認する

■ 実験方法

- 合計 64 GB のデータを移送して移送時間を測定する
- SSTable は lv1 から lv4 まで
- 比較:
 - SSD → PM
 - SSD → SSD

■ 実験結果

- PM に再配置するファイル数が多いほど移送時間を短縮
 - PM-Only (lv1 - lv4) では SSD-Only より約 40 % 短くなった
 - 緊急で移送したい状況で有用

